



12
2019
Dec.

HOKUSHIN PRESS



歳末の食卓を
豪華に彩る美味レシピ

素材の旨味がたっぷり!
おもてなしにもピッタリのメニュー。

金目鯛のアクアパルツア

材料(4人分)

金目鯛(骨つき) ----- 4切れ(400g)	ブラックオリーブ(スライス) -----
えび(小さめ) ----- 8尾	サラダグラフ ----- 1袋(25g)
塩 ----- 小さじ1/3	バジル(生) ----- 適量
あさり ----- 1パック(200g)	白ワイン ----- 大さじ4
にんにく ----- (大)かけ	塩 ----- 小さじ1/4
赤唐辛子 ----- 1本	こしょう ----- 少々
玉ねぎ ----- 1/4個	バジンオリーブ油 ----- 大さじ1
ミニトマト ----- 1パック(200g)	スパゲティ ----- 160g
	●塩、オリーブ油

RECIPE

1 あさりは海水程度の塩水に浸して砂抜きしたのち、殻をこすり合わせて洗い、ザルに上げる。金目鯛は塩をふる。

2 にんにくは叩きつぶし、赤唐辛子はヘタと種を除く。玉ねぎはみじん切りにし、ミニトマトはヘタを除く。

3 フライパンにオリーブ油をさじ2で弱火で熱し、にんにくと赤唐辛子を入れて香りを立て、玉ねぎを加えてさっと炒める。金目鯛を皮目向下にして並べ入れ、中火で1~2分焼いて焼き色がついたら返し、さらに2分ほど焼く。

4 強火にしてあさり、えび、ミニトマトを加え、白ワインをふってアルコール分を飛ばし、水1/2カップを加える。煮立ったら中火にして煮たをし4~5分煮、黒オリーブを飛ばし、トマトの皮がはじけたらバジルをちぎって加える。

5 塩、こしょうで調味し、仕上げにバジンオリーブ油をまわしき、とり分けで食べる。残った汁に、アルデンテにゆでたスパゲティを加えて煮からめる。

*他の白身魚、魚介類、はち、あなごなどで代用可



12月の旬魚



金目鯛

金目鯛は1年を通して大きさは変わらないとされていますが、その時期は12~2月と5~6月、1年2度もあるのです。12~2月の季節が終わり、体力の限り丸々と太った冬の最も脂がのった時期ともう一つは5~6月の産卵前の初夏の時期です。

■目利きのポイント…おいしい金目鯛を見分けるなら、最初にチェックするのは目です。白く濁ったものではなく、なるべく黒目がはっきりとして澄んだもの、金色に輝くような目を選びましょう!また、金目鯛の肌の赤い色が鮮やかで丸やかな赤い状態が良いです。お腹の部分を触り硬さと張りがあるものを選びましょう。エラも鮮やかな赤い色をしていればそれが新鮮な証拠です。



本マグロ

おもに大西洋や地中海、日本近海で獲れますが、特に日本近海の国産本マグロは最高級品とされています。近年は乱獲による資源の激減から漁獲規制が強化され、厳しい漁獲規制が各國に課されています。国内の本マグロの旬は12月から翌年の2月頃で、大間や青浦が生の本マグロ産地として有名ですね。最近では養殖や養殖本マグロの出荷も増え、冷凍技術の発達とともに一年を通して購入することができます。

■目利きのポイント…もっとも良いとされるものは、マグロの色目が赤色からピンク色で、明るく鮮やかな色をしているもの。また、筋目が平行に入っているものであり、次に斜めに入っているものが良いものとされています。



ふぐ

一般的にこの旬は「秋のが岸から春の彼岸まで」と言われています。つまり、9月頃から3月頃までが旬ということになりますが、4月から6月頃のふぐは、卵巣の毒が非常に強くなることから、旬は春の彼岸までと言われるようになったそうです。

■目利きのポイント…美味しいふぐの見分け方としては、簡単ですが3点ご紹介します。
(外観の模様)斑点や模様がなく、きれいな白のもの。
(身の透明感)切り身の場合、透明感のある白色で、弾力のあるものが新鮮です。
(養殖か天然か)鮮度とは直接関係ありませんが、養殖のふぐはヒレが汚れているものが多く、ヒレの付け根が若干黒くなっているのが特徴です。

いつもと一味違うマグロを楽しめる一品。

マグロステーキ蕎麦

材料(2人前)

まぐろ(刺身用)	1枚
塩	少々
あらびき黒こしょう	小さじ1
オリーブ油	大さじ1
練りわさび	小さじ1
ネギ	適量
カイワレ	適量
レモン	大きじ2
A	みりん
酒	大きじ2
砂糖	小さじ1
ゆで蕎麦麺	400g
そばつゆ	400ml

RECIPE

- 1 横のまぐろに塩、あらびき黒こしょうを全体にふり、オリーブ油を熱したフライパンで両面をさっと焼く。
※焼き過ぎると余熱で中まで火が通ってしまうので注意!
- 2 まぐろは、食べやすい大きさにスライスして、すぐに冷蔵庫に冷やしておく。
- 3 フライパンにAを加えて、軽く煮つめて火を止め、練りわさびを溶き入れる。
- 4 ゆで蕎麦麺を器に入れ、その上に(2)をのせ、あまたたけをかけ入れます。
- 5 表仕上げにネギ、カイワレをお好みで添えて、そばつゆを麺の上に目掛け入れます。出来上がり。

*白身魚、鰯でも代用できます。



どんぶりにもおすすめ!
表面は香ばしく、内側は柔らかく

ふぐたたき

材料(2人分)

ふぐ	1匹分	刺身のつま	適量
塩	小さじ半分	レタス	1/4個
キッヂンペーパー	二枚×二回	青紫蘇	5枚
氷水	500cc	ポン酢	大さじ1
ネギ	適量	フグ皮	あればお好みで

RECIPE

- 1 レクスは食べやすい大きさにカット、大根は千切りにし、氷につけながら、ざるにあげ、水気を取る。
- 2 青紫蘇をきれいに洗って、ペーパーで、水気を切る。一部を千切りにし、大根と混ぜる。
- 3 鮭皮や尾びれをとり、三枚におろす。軽く温をふり、五分位置く。
- 4 キッヂンペーパーで、ふぐの水気を取る。
- 5 烹したフライパンに油を入れずにふぐを並べ、表面に焼き目がつくまで焼く。
- 6 氷水に入れ、直ぐに引き上げ、キッヂンペーパーで水をとる。ラップして、冷蔵庫で冷やしておく。
- 7 たたきマーの声聞いたら、ふぐを切り分け、刺身のつまとともに盛り付け、ネギを散らす。
- 8 ボン酢とともにじおでも、わさびと醤油でも、美味しいだけです。

*白身魚、赤身の魚でも代用可



うなぎのふわふわビサートースト



- 1 食パンの上にマヨネーズを薄状にトッピングします。
- 2 うなぎの薄焼きをはし3cm位の食べやすい大きさにカットしのせ、薄く千切りにしたピーマンを散らす。
- 3 スライスチーズをお好みの量トッピングし、トースターで焼けさせます。(オーブンの場合180度で10分)
- 4 完成。

うなぎとマヨチーズが
最高にマッチ!
のっけて焼くだけ
スピードメニュー!

材料(4人前)

食パン(好みの厚さ)	4枚
うなぎの薄焼き	1束
ピーマン	1個
(好みの薄焼き用)玉ねぎ40g(もしくは大葉4枚でも可)	1個
チーズ(好みの量)	20g
スライスチーズ	適量
卵ショウガ	適量

しゃけとキノコと野菜のホイル焼き



- 1 鮭の切身をクッキングペーパーに敷き水気を拭き取りしきり塩胡椒をする
- 2 オクラは板ばねし毛羽立ちを取り2cm位の輪切りにする
- 3 玉ねぎ、しめじは石竹をはずし好きな長さにカットしておく。
- 4 鮭のササより両面5センチほど長いアルミホイル用紙を真ん中で折りたまえのし、しめじ、おくらを鰯の近く、もしくは上
- 5 に置き、しお味。(バターを入れアルミでしめじを蓋をして、端は折りたむ)
- 6 热したフライパンにいれて中火で20分蒸し煮にする(フライパンの間に少量の水を入れ蒸し煮にするが出来なくて良い)
- 7 出来上がったら酢をかけ、あればレモン又はすだらを絞り入れ用に飾る

カレイのカレーフライ



材料(4人前)

カレイ	4匹
ヨーグルト(フレーバーなし)	大さじ5
醤油	少々
カレー粉末	大さじ2
玉ねぎ粉	大さじ4
水	大さじ6
(好みの量)	適量
油揚げ用	適量
すだら	適量
(レモンでも可)	1個

牛蒡の根、セロリ、人参で代用可。
マヨもおいしく。

- 1 すだらを4等分にカットする
- 2 ヨーグルト・塩・カレーパウダーにカレイを漬け込む(室温30分程度)中火で煮立ると煮出しが止まる。火を止めて水を加え、火を弱め水を溶かして溶き度を作る
- 3 魚を溶き湯につけて粉をつける
- 4 ポテトフライを揚げる。揚がったらお好みで塩を振っておく

外はサクサク、
中はふわっと食感豊かに★

ふんわり美味しいアジハンバーグ



材料(2人前)

アジ	3切れ
	4切れ
玉ねぎ	1/2個
生姜(生姜チップ)	1かけ
オイスター油	大さじ1/2
水	大さじ2
大根おろし	お好みで
ほんのり	お好みで
タマネギ	1個
酒	大さじ4
パセリ	少々
牛乳	大さじ1
塩こしょう	適量

- 1 アジは細かく切りたたく。玉ねぎはみじん切りにする(フードプロセッサーでも可)
- 2 オクラに切ったアジ、玉ねぎ、生姜と合を入れて茹で合わせる。2等分にし小判型に削ぎます
- 3 フライパンにサラダ油を入れて熱しタネを入れて火で揚げ色がつくまで揚ぐ。裏返して蓋をして弱火で5分程。中に火が通るまで焼く
- 4 大根を敷いた器に盛り付けて、大根おろしをさばさけをかけたら完成(お好みがり)
- ★ チーズを包んでチーズでアジハンバーグに。魚肉のカツ様に大人気な味に変身します。青ねぎ、ブリなどで代用可。豆腐を入れて豆腐とお魚のハンバーグにもなります

お子様にも食べやすい!

かきのてりてり焼き



材料(4人前)

牡蠣(加熱用)	300g
白ワイン	600cc
(今度は呑むつづけ)	半升みで醸造可
白砂糖	大さじ2
生姜(生姜)	大さじ2
片栗粉	10g
油	適量
(牡蠣につけられる他の味噌類で代用可)	

- 1 牡蠣を塩水で洗う(汚れる程度にさっと)
- 2 口の醤(水、砂糖、料理酒、水)を混ぜる。
- 3 牡蠣の水分をしっかりと取る(キッチンペーパーなどで)
- 4 牡蠣と共に醤をさす
- 5 フライパンに少量(分量外)の油を入れ両面を焼く。

しっかり味で、
ご飯にもお酒にもピッタリ!

さわらと野菜の煮びたし



材料(4人前)

さわら	3切れ
しいたけ	4個
パプリカ(赤・黄)	1/4個
ピーマン	2個
しめじ	1/4個
玉ねぎ	1個
サラダ油	大さじ2/3 (8g)
だし汁	100ml
みりん	大さじ1

おさわらのカツの味に、ちりめんじゃこ、海老などで代用可

- 1 いかは頭を取って骨を抜いて十寸にさす。それをパプリカ、ピーマンはやさしく大きめに切って。しめじ、えのきは石臼附を外し食しやすく大きめに分成する。さわらも食しやすく大きめにカット。
- 2 おにぎりオイスター油を熱し、お野菜を全部投入して炒め煮で炒めます。
- 3 油が固つたらさわらを入れ火を通していきます。
- 4 さわらに火が通ったらだし汁、みりん、しようと入れ全休に味をなじらかく今までに立たせば完成です。(1~2分)

シンプルな味付けで、
素材の味を愉しんで。